

一般質問発言通告書

発言順位 13 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和2年9月8日

三島市議会議長 大房 正治 様

三島市議会議員 1 番 佐野 淳 祥



質問事項 1	(隠れ) 待機児童と「3歳の壁」問題
具体的内容	希望保育所を選択すると、隠れ待機児童となりますが、市内すべての保育所で定員を超過している状態が続いており、明らかな待機児童が慢性的な状態で数字として表れております。多くの議員もこの問題を議会で取り上げてきましたが、当局としては、小規模保育事業所の認可を増やし、0～2歳児のいわゆる3号の入所受入数を増やして、待機児童を解消していくとの方針です。しかしながら、小規模保育園を卒園した後に行き場がなくなる「3歳の壁」も懸念されます。そこでいくつか質問をさせていただきます。
	1. 現在700人を切っているが、今後10年間の年間出生数はどう見込むか。
	2. 0～2歳の子を持つ女性の就業(希望)割合は。
	3. (隠れ)を含めた待機児童数は。
	4. 解消する対応状況と、来年の(隠れ)待機児童数の予測は。
	5. 小規模保育を卒園した3歳以上になる2号の受け入れ先は、確保されているのか。
	6. 少子化などの影響による、定員割れ分岐点はいつ起こるか。
	7. 公共施設の適正化と中長期的な保育計画のために公立幼稚園を認定こども園化できないか。
	8. 今後も小規模保育事業所を増やしていく計画なのか。
質問事項 2	自転車を安心して乗れる青矢羽根の設置計画
具体的内容	平成29年11月議会の同様質問へのご答弁では、「2市1町の自転車ネットワーク計画で選定した路線に、青い矢羽根の設置を図る」としており、令和元年に宮下議員が質問された青矢羽根の設置その後については、「比較的自転車交通量が少なく規制速度が低い路線で設置していく」としています。清水町から本市中心部につながる、いわゆる「新道」では、清水町内では、すでに青矢羽根の設置が終わっており、三島市から続いておりません。
	1. 新道の青矢羽根設置はされるのか。
	2. 今後の予定はどうなっているか。
	3. 市民への周知と子どもたちへの教育をどのように計画しているか。
質問事項 3	新型コロナとインフルエンザによる登校と放課後児童クラブへの運営影響
具体的内容	法定面積を確保できていない放課後児童クラブでは、過密状態によるコロナ感染も心配されます。そのなかで、働いている指導員の皆様の環境も過酷であろうと推察されます。また、政府要請による一斉休校やその影響での夏休みの完全閉庁によって、放課後児童クラブも預かれる時間が抑制されたり、預かれない期間が長期日数になったりするなど、仕事を休むことのできない保護者からは、悲鳴が上がっていました。教育委員会もコロナ対策で、規格外の運営を強いられていると存じますが、インフルエンザの時期も近づいているなか、学校への出席停止命令や放課後児童クラブのBCP(事業継続計画)など、今後の方針を伺いたいと思います。
	1. 医療現場では新型コロナとインフルの判断がつきにくいというが、出席停止期間はどのようになるのか。
	2. 新型コロナなどによる、放課後児童クラブ運営の影響を最小限にするため、またスムーズに危機に対応できるよう、BCP(事業継続計画)の策定を求めるが、いかがか。